

○時代に対応した青少年の教育、暮らして良かったと実感できるまちづくり

(1)小・中学生の孫を持つ者として、学校生活を見聞きしながらより良い教育環境づくりを努める。

(2)犯罪などのない安全安心な町、まちづくり基本条例に基づき、地域に合った地域づくりを行政区長と連携を取りながら執り進める。

○高齢者が楽しく暮らせる福祉行政、生活環境

老人クラブの会合を通じ実際の日常の不安や不便などを聞きながら高齢者の声を福祉行政に反映させる。



樋坂 里子議員

私は、今回の選挙にあたり24年間取り組んできた「町民

こそ主人公」をつらぬいて次のことを中心に取り組みたいと思います。

買い物・交通難民への対策の方法。消費税増税反対。介護保険制度の充実。後期高齢者医療制度の廃止。T P P参加に反対。住宅リフォーム制度の導入。地産地消。公共事業は地元業者優先に。憲法改正に反対し9条を守る。

議員は町政の執行者ではないので、軽々に「これをやります。」とは言えませんが、一般質問や委員会活動を通じ、町民目線での提言を続けていきたいと思っておりますので、ご支援ご協力をお願いいたします。



後木 幸里議員

本年4月の統一地方選挙において、我々町議員11人は無投

票で当選させていただきました。私は非常に重く受け留めさせていただいている一人であり、今後は有権者町民の皆様のご指導をいただきながら4年間務めてまいります。

ここで少しだけ私の想いの一端を述べさせていただきます。

去る3月11日に起こった東北の大震災は、今後かなり長い期間日本の政治や経済に計り知れない影響を及ぼすことは必至と思っております。このような時代町議会議員の一員としての想いは、まず、一人ひとりが自己を確立すること。そして町民生活の安定を町政執行者、議員、職員、そして町民のみならず共々協力していくことが一番大事なことだと思います。

不透明な時代が迫りつつあるように思います。不動心を培いたいと思っております。



長名 實議員

統一地方選挙が終って1カ月が経ちました。今回投票が行われたのは知事選挙のみで、道議、町長、町議においては無投票となり寂しい結果となっております。

私自身この結果を受け、積極的に町政参加を志す町民が数少なくなることに疑問を感じています。議員も議会も本町の将来を考える時、町民も交えての真摯な検証、議論が必要と思っております。その上で議員定数は、人口の少ない地域の人たちのためにも、より多くの声が町政に届くことが大切で、多くの町民が町政へ参加していただけることを望みます。

さて、私は初議会において滝川地区広域消防事務組合議員に選任されました。先の東日本大震災を想定外の出来事として片付けてよいのでし

ようか。本町も未曾有の災害を契機に誕生した町でもあることから災害に備えるインフラ整備に努力してきました。町民の安全安心を守るための防災対策をより一層配意していく所存であり、町民各位のご指導ご支援をお願いいたします。



西内 陽美議員

豊かな自然に恵まれた新十津川町のさらなる未来に、大きな責任を負ったと重く受けとめております。町民の皆さまのお役に立てるよう日々研鑽を積み精進してまいりますので、ご指導を宜しく申し上げます。

さて、わが町にも様々な課題が山積しております。喫緊に取り組むべきものには、交通手段の確保・福祉施設の充実を含め、ご高齢の方が健康